

- 問1 茶の栽培が行われている地域の気候的な特徴を考慮したとき、茶の生産が困難な地域の説明として最も適切なものを次の中から選びなさい。
(2020年 広島県公立入試 類似)
- 夏は高温で乾燥するが、冬に一定の降雨がある地中海沿岸の地域。
 - 四季の変化がはっきりしており、温暖な気候に恵まれた温帯の地域。
 - 年間を通じて気温が高く、一定以上の降水量がある熱帯の地域。
 - 極端に気温が低くなる冷帯（亜寒帯）や寒帯の地域、および水分が不足する乾燥帯の砂漠地帯。
- 問2 赤道に近いインドネシアのジャカルタの統計において、一月から十二月までのすべての月で平均気温が二十七度から二十九度の範囲にあり、年間を通じて極めて気温の変化が少ないというデータがあります。このような気候の特徴を背景に行われる稲作の説明として、最も適切なものはどれですか。
(2026年 富山県公立入試 類似)
- 常に高温である気候条件を活かし、同じ耕地で年に二回収穫を行う二期作が行われる。
 - 冷涼な気候を活かして、他の地域よりも出荷時期を遅らせる抑制栽培が行われる。
 - 季節風の影響で生じる雨季と乾季を使い分け、稲と小麦を交互に育てる二毛作が行われる。
 - 一年の半分以上が寒冷なため、育苗期間を短縮して夏の間だけ栽培する単作が行われる。
- 問3 乾燥帯における自然環境と人々の生活の背景について説明したものととして、適切なものはどれですか。
(2022年 和歌山県公立入試 類似)
- 年間を通じて多雨であるため、高い樹木が密集する密林が形成されている。
 - 降水量が極めて少ないため、わずかな水が得られるオアシスや外來河川の周辺で農業が行われる。
 - 夏の降水量が多いため、広大な平野で稲作が盛んに行われている。
 - 地中海性気候の影響を受け、夏は乾燥するが冬に一定の降水がある。
- 問4 シベリアなどの冷帯で見られる、地下に年中凍ったままの層がある地域では、住居部分を長い支柱によって地面から高く持ち上げ、階段を使って出入りするような高床式の構造が見られます。このような工夫を行う目的として最も適切なものはどれですか。
(2016年 鹿児島県公立入試 類似)
- 森林地帯に生息する害虫や野生動物が、室内に侵入するのを防ぐため
 - 夏季の短い期間に地表の氷が解けて発生する、大規模な洪水による浸水を防ぐため
 - 建物の熱が地中に伝わって永久凍土が解け、地盤が緩んで家が傾くのを防ぐため
 - 地面付近の風通しを良くすることで、夏場の室温が上昇しすぎるのを抑えるため
- 問5 インドネシアなどの熱帯雨林気候で見られる、午後の気象現象の特徴について述べた文として最も適切なものはどれですか。
(2022年 徳島県公立入試 類似)
- 強い日差しの影響で上昇気流が起こり、短時間のうちに激しい雨と強風に見舞われる。
 - 高緯度からの冷たい風と暖かい風がぶつかり、広範囲にわたって霧を伴う雨が降る。
 - 発達した温帯低気圧が通過するため、数時間かけて穏やかな雨が降り、その後気温が下がる。
 - 海から吹き込む湿った季節風の影響で、数日間にわたってしとしと雨が降り続く。
- 問6 南アフリカのケープタウンやニュージーランドのウェリントンに見られる、温帯の気候帯における人々の生活や環境の特色として、最も適切な説明を選びなさい。
(2018年 千葉県公立入試 類似)
- 一年を通して降水量が非常に少なく、乾燥に強い作物やオアシスでの農業が中心となる。
 - 一年中気温が高く、スコールと呼ばれる激しい雨が降るため、高床式の住居が見られる。
 - 冬の寒さが極めて厳しいため、タイガと呼ばれる広大な針葉樹林を利用した林業が盛んである。
 - 四季の変化がはっきりしているため、季節に合わせた農作業が行われ、多くの人々が居住している。
- 問7 ユーラシア大陸の気候帯の広がりについて、面積割合の統計的な特徴を説明した文として最も適切なものはどれですか。
(2024年 高知県公立入試 類似)
- 冷帯（亜寒帯）が最大の割合を占め、次いで乾燥帯、温帯の順に面積が広い。
 - 温帯が約4割を占めており、大陸全体において最も一般的な気候となっている。
 - 寒帯の面積が乾燥帯の面積を上回っており、大陸の大部分が氷に覆われている。
 - 熱帯が最大の割合を占め、赤道に近い地域ほど大陸面積の大部分を構成している。
- 問8 ロシアの広大な国土に見られる自然環境と植生について述べた文として、タイガの特色を正しく説明しているものを選びなさい。
(2023年 秋田県公立入試 類似)
- 一年中氷に覆われ、夏の間だけ地衣類やコケ類が生育する荒原となっている。
 - 冬の厳しい寒さに耐えられるマツやモミなどの針葉樹が広がっている。
 - 夏の乾燥に強いオリーブやブドウなどの果樹栽培が盛んな硬葉樹林となっている。
 - 乾燥した気候に適応した、短い草が生える広大な草原地帯が続いている。
- 問9 北極圏などの高緯度地域における自然環境と人々の生活の特色について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。
(2022年 埼玉県公立入試 類似)
- 日照時間の変化がほとんどないため、伝統的な犬ぞりが現在でも唯一の移動手段として厳格に守られている。
 - 季節風（モンスーン）の影響を強く受けるため、夏は高温多湿になり、冬の移動には主にラクダが利用される。
 - 一年を通じて温暖であり、午後に激しい雨を伴うスコールが発生するため、移動には小型のボートが多用される。
 - 夏季には太陽が沈まない白夜が見られるなど、低緯度地域に比べて季節による日照時間の変化が極めて大きい。
- 問10 世界各地の宗教の分布について述べた説明のうち、イスラム教の特徴として正しいものはどれですか。
(2022年 熊本県公立入試 類似)
- タイやミャンマーといった東南アジアの大陸部から、東アジアの日本や中国にかけて最も広く分布している。
 - インドを中心に信仰されており、他のアジア諸国や中東地域へはほとんど広まっていない。
 - サウジアラビアなどの中東地域だけでなく、東南アジアの島嶼部にあるインドネシアなどでも多くの人々が信仰している。
 - フィリピンを除く東南アジアの国々ではほとんど見られず、主に北米やヨーロッパ諸国で信仰されている。
- 問11 世界各地の気候と植生の関係を説明した資料において、冷帯（亜寒帯）に分類される地域に見られる景観として、正しいものはどれですか。
(2022年 和歌山県公立入試 類似)
- エゾマツやカラマツなどの針葉樹林が広がる「タイガ」
 - 丈の長い草が茂り、シマウマなどの野生動物が生息する「サバナ」
 - 一年中凍りついた土壌のため、夏にわずかな苔類が生える「ツンドラ」
 - 乾燥に強い短い草がわずかに生える、樹木のほとんどない「ステップ」
- 問12 フランス北部のリールのような「西岸海洋性気候」に属する都市の気候統計に見られる特徴について、日本の東京と比較して説明したものとして最も適切なものはどれですか。
(2024年 香川県公立入試 類似)
- 季節風（モンスーン）の影響を強く受けるため、東京よりも夏と冬の気温差が大きく、降水量は夏に極端に集中する。
 - 東京に比べて夏の気温が低く、冬の冷え込みも緩やかであるため、気温の年較差が小さく、降水量は一年を通して平均的である。
 - 年間を通じて赤道低圧帯の影響を受けるため、東京よりも気温の年較差が小さく、毎日激しいスコールに見舞われる。
 - 夏は乾燥して日照時間が長く、冬に降水量が集中するため、東京に比べて降水量の季節による変化が非常に大きい。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 極端に気温が低くなる冷帯（亜寒帯）や寒帯の地域、および水分が不足する乾燥帯の砂漠地帯。	茶は温暖で湿潤な気候を好む植物です。そのため、植物の生育が困難なほど気温が低い寒帯や、冬の寒さが非常に厳しい冷帯（亜寒帯）では栽培することができません。また、生育には十分な水分も必要なため、雨が極端に少ない砂漠地帯も栽培には適しません。実際の生産地は、温帯から熱帯にかけての広い範囲に分布しています。
問2	答え 1 常に高温である気候条件を活かし、同じ耕地で年に二回収穫を行う二期作が行われる。	稲の生育には高い気温が必要ですが、赤道に近い低緯度地域では一年中気温が一定して高いため、季節を問わず稲を育てることができます。この気候的利点を活用することで、年に二回（地域によっては三回）の収穫が可能となります。一方で、日本のような温帯地域では冬の気温が低いため、一般的には年に一回の収穫（単作）となります。
問3	答え 2 降水量が極めて少ないため、わずかな水が得られるオアシスや外来河川の周辺で農業が行われる。	乾燥帯は降水量が蒸発量に及ばないため、日常的な水不足が課題となります。そのため、地下水が湧き出るオアシスや、湿潤な地域から流れてくる外来河川の近くに人々が集まり、灌漑などによって農業や生活基盤を築いてきました。
問4	答え 3 建物の熱が地中に伝わって永久凍土が解け、地盤が緩んで家が傾くのを防ぐため	シベリアなどの永久凍土帯では、建物内の暖房などの熱が直接地面に伝わると、凍っていた土が解けてしまいます。その結果、地盤が不安定になり、建物の重みで地面が沈んだり家が傾いたりするリスクが生じます。これを防ぐために、支柱を深く打ち込み、床を地面から離して熱を伝わりにくくする工夫がなされています。熱帯の高床式住居が「通気性」や「防虫・防湿」を目的としているのに対し、冷帯では「地盤の維持」が主な目的であるという違いを理解することが重要です。
問5	答え 1 強い日差しの影響で上昇気流が起こり、短時間のうちに激しい雨と強風に見舞われる。	熱帯地域では、日射によって地表が加熱されることで上昇気流が生じ、スコールと呼ばれる激しい対流性の降雨が発生します。この現象は毎日のように繰り返されることが多く、短時間で止むのが特徴です。季節風（モンスーン）による長期間の雨や、停滞前線による雨とは、降る時間帯や継続時間に明確な違いがあります。
問6	答え 4 四季の変化がはっきりしているため、季節に合わせた農作業が行われ、多くの人々が居住している。	温帯は、熱帯のように極端な高温が続くわけではなく、また冷帯（亜寒帯）のように極寒の冬が長く続くわけでもありません。適度な気温の変化と降水量により、農業生産が安定し、世界的に見ても人口が集中しやすいのが大きな特徴です。選択肢にあるスコールは熱帯、オアシスは乾燥帯、タイガは冷帯（亜寒帯）の特色を説明したものです。
問7	答え 1 冷帯（亜寒帯）が最大の割合を占め、次いで乾燥帯、温帯の順に面積が広い。	ユーラシア大陸の気候構成は、北部の広大な地域を占める冷帯（亜寒帯）が約39.2%と突出して多く、次いで内陸の砂漠やステップを含む乾燥帯が約26.1%、温帯が約17.5%という構成になっています。東南アジアや南アジアの一部に見られる熱帯は約7.4%であり、大陸全体で見れば決して大きな割合ではありません。
問8	答え 2 冬の厳しい寒さに耐えられるマツやモミなどの針葉樹が広がっている。	冷帯（亜寒帯）は、短い夏と非常に寒さの厳しい冬が特徴です。このような気候条件では、広葉樹よりも寒さに強い針葉樹が育ちやすく、シベリアから北ヨーロッパ、北アメリカ北部にかけて広大な針葉樹林帯が形成されます。なお、短い草の草原はステップ、苔などの地衣類が見られるのはツンドラ、オリーブなどは地中海性気候の植生です。
問9	答え 4 夏季には太陽が沈まない白夜が見られるなど、低緯度地域に比べて季節による日照時間の変化が極めて大きい。	高緯度地域は低緯度（赤道付近）に比べて、季節による太陽の高さや日照時間の変動が激しいという特徴があります。夏には白夜、冬には太陽が昇らない極夜といった極端な環境が見られます。これに合わせて、雪上や氷上を効率よく移動できるスノーモービルが導入されるなど、厳しい自然条件に対応した独自の生活文化が形成されています。熱帯で見られるスコールや、東アジアなどで顕著なモンスーンの影響は受けません。
問10	答え 3 サウジアラビアなどの中東地域だけでなく、東南アジアの島嶼部にあるインドネシアなどでも多くの人々が信仰している。	イスラム教は西アジア（中東）の乾燥帯を中心に発展しましたが、ムスリム（教徒）の商人の活動などによって、海を越えた東南アジアの島々にも伝わりました。そのため、中東の国々から、パキスタン、バングラデシュ、マレーシア、インドネシアといったアジアの広い範囲にかけて、人口の多くがこの宗教を信仰する国々が連続して分布しています。
問11	答え 1 エゾマツやカラマツなどの針葉樹林が広がる「タイガ」	冷帯（亜寒帯）は、冬の寒さに耐えられる針葉樹の生育に適しています。ロシアのシベリアから北ヨーロッパ、カナダにかけて広がるこの針葉樹林はタイガと呼ばれ、木材資源としても重要です。サバナは熱帯、ツンドラは寒帯、ステップは乾燥帯で見られる景観です。
問12	答え 2 東京に比べて夏の気温が低く、冬の冷え込みも緩やかであるため、気温の年較差が小さく、降水量は一年を通して平均的である。	西岸海洋性気候（Cfb）は、暖流と偏西風の影響により気温の変化が穏やかになるのが最大の特徴です。東京のような温帯湿潤気候と比較すると、夏の最高気温はそれほど上がらず、一方で冬は暖流の影響で極端な冷え込みが抑えられるため、気温を示す曲線は平坦になります。また、降水についても季節による大きな偏りが見られず、各月で均一な傾向を示します。